

工事名：伊勢湾岸道路 名港西大橋（上り線）耐震補強工事

発注者：中日本高速道路株式会社 名古屋支社

工事場所：自）愛知県東海市新宝町～至）愛知県海部郡飛島村金岡

工 期：平成 27 年 8 月 1 日～平成 29 年 7 月 20 日（完成検査 平成 29 年 7 月 25 日）

構造形式：3 径間連続鋼斜張橋（鋼床版多室箱桁） 橋長 758m

工事概要（名港西大橋 耐震補強の主要数量）

耐震補強部材	数量	備考
制震ダンパー	16 基	橋軸 12 基、橋直（主塔部）4 基
免震支承	4 基	主塔部 免震支承に取替
弾性拘束ケーブル定着部免震改良	2 箇所	主塔部 免震支承の設置
ウインド支承改良	2 基	橋脚部 鋼製支承取替
アップリフト防止ケーブル	4 本	橋脚部
負反力対策構造	4 箇所	主塔部 主塔接触防止構造兼用
主桁断面補強	1 式	中央径間部
炭素繊維巻き立て	2 箇所	橋脚

●コメント

昭和 60 年 3 月に供用した名港西大橋（上り線）は、名古屋港を横断する名港トリトンで最初に建設された長大斜張橋です。本工事では、東海地域で想定される最大規模の地震に耐えるよう耐震補強工事を行いました。

“スレンダーな鋼橋をスマートに補強”を基本コンセプトとした詳細設計を行い、現地施工では「海上施工」「高所の狭隘空間作業」における安全確保に留意しました。さらに、各施工段階における挙動分析・計測により安定性を確認し、供用中路線の機能を損なうことなく施工しました。

弊社は名港西大橋（上り線）の新設工事、拡幅工事にも関わっており、今回は研鑽してきた保全技術で耐震補強工事に貢献することができました。本工事は発注者からも高い評価をいただいております。

瀧上は、これからも鋼橋の保全に積極的に取り組んでまいります。



完成写真
(左が上り線)



主塔部（中央径間側）：橋直ダンパー、負反力対策構造等



主塔部（側径間側）：橋軸ダンパー、検査車改造等



橋脚部：橋直ダンパー、アップリフト防止ケーブル等